

平成24年11月 日

横浜市長 林 文子様

NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金  
理事長 角田東一  
横浜市港南区港南台9-30-31  
連絡先 090-6191-1861

## 上郷開発区域内の製鉄遺跡保存を

東急建設が、平成24年1月に申請した「上郷開発都市計画提案」相談書において、切土盛土で12.4ヘクタールの樹林地や農地などの緑地が失われ、住宅・商業施設が建設されようとしています。

この開発が行なわれれば、神奈川県でも最大級の貴重な文化遺産“古代製鉄遺跡”が完全に破壊されてしまいます。

この地区には太古の時代から昭和までの人びとの暮らしが同われる遺跡や施設跡など、文化的学術的にも貴重な遺跡が見つかっています。古代製鉄遺跡の向かい側の山には、製鉄技術を伝えた渡来人の墓といわれる古代の横穴墓群が残されています。その周辺には縄文遺跡、江戸期の横堰、昭和の銃眼遺構、160万年前の化学合成貝化石露頭などが存在しています。

“古代製鉄遺跡”は、これらと関連する重要な遺跡として、原風景のまま恒久的な保全をすべきと考えますが、市長の見解を伺います。

ホタルのふるさと瀬上沢基金は、「ナショナル・トラストで基金を集め、瀬上沢緑地の取得や借用を行い、自然環境と文化遺産を後世へ引き継いでいく」ことを目的としています。会員と寄付者数は、現在8,800人超となっています。

お金を出してでも瀬上沢の自然と文化遺産を残したい、という強い意志を表わしている市民の声を重く受け止め、ご回答をお願い申し上げます。

以上

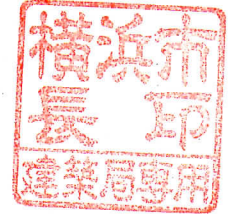
建都計第 2251 号

平成 24 年 11 月 22 日

NPO 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金

理事長 角田 東一 様

横浜市長 林 文子



「上郷開発区域内の製鉄遺跡保存を」について (回答)

さきに陳情 (平成 24 年 11 月 8 日) のありましたことについて、次のとおりお答えします。

東急建設には平成 24 年 3 月 9 日付の「都市計画提案の事前相談に関する助言書」で、当該地に周知の埋蔵文化財包蔵地が存在し、文化財の保護措置について検討・協議・対応が必要となることを伝えております。

現在のところ、都市計画提案は提出されておりませんが、今後、当該地区に関する都市計画提案書が提出された場合、本市では、御指摘いただいた点も踏まえた上で提案内容を評価し、都市計画決定や変更をする必要があるか否かを判断してまいります。

この旨ご了承いただき、貴団体の皆様によりしくお伝えください。